

公益社団法人 日本技術士会栃木県支部 全体会合 報告

日時；平成25年6月8日（土） 13：00～14：30

場所；ホテル丸治（宇都宮市）

主催；公益社団法人 日本技術士会栃木県支部

1. はじめに

昨年平成24年5月の公益社団法人日本技術士会栃木県支部発足の全体会議を第1回とすると、本年6月8日に第2回会目の全体会合が開催されたのでその概要を報告する。出席技術士は40名であった。

2. 議事次第

司会の総務委員長 黒須重富の開会宣言で始まり、以下の内容で議事進行した。

1) 支部長挨拶

管井俊郎支部長より栃木県技術士会の過去12年間の活動と、栃木県支部に体制変更した平成24年度の活動を継承して、県支部基本方針の「会員の顔の見える会」と「地域の人と文化と技術をつなぐ架け橋」を目指し、今年の平成25年度活動方針について説明があった。（附属資料）

2) 報告事項

①新幹事・新組織及び名誉会員・会長表彰の紹介

小黒幸一副支部長より平成25年3月に選出された県支部新幹事15名（順不同）、管井俊郎、柳瀬宣義、小黒幸一、黒須重富、羽山定治、亀田則男、谷口雅昭、久芳良則、宮下治、荒井達雄、西谷元則、福田一郎、鈴木友幸、梁島宏光、土田茂が紹介された。

県支部の新組織は、総務委員会以下の県支部各委員会等は昨年度の組織、6委員会、3小委員会が継承される予定である。

新幹事は7月の本部理事会で承認された後、県支部役員会で組織・担当を決定することになるので、新執行部の始動は実質7月以降となる予定である。

日本技術士会活動の功労者として、栃木県支部より田仲喜一郎、佐倉等、森島啓司の3名の方々が日本技術士会から名誉会員・会長表彰を受ける旨報告があった。

②平成24年度事業経過報告

柳瀬副支部長より平成24年度事業経過報告があった。（附属資料）

特に10月6日の JAXA 川口氏を講師に招いての科学技術講演会「小惑星探査機はやぶさ学ぶ」は一般市民、学生等の参加もあり好評であった。県支部のその他の活動は事業経過報告の通り、毎年着実にその成果を上げてきていると感じられる。

③平成25年度活動方針について

管井支部長の支部長挨拶の中で、平成25年度栃木県支部の活動方針の説明がなされた。（附属資料）

④平成25年度各委員会の事業計画、行事予定

総務委員長 黒須、企画・研修委員長 宮下、業務委員長 柳瀬、広報委員長 西谷、国際委員長 福田、地域支援小委員会 福田、環境支援小委員会 久芳の各委員会委員長より事業計画および行事予定の報告があった。（附属資料）

⑤栃木県支部平成24年度収支実績および平成25年度収支予算計画

総務委員長 黒須、会計担当幹事 佐藤勝俊より平成24年度県支部収支実績および平成25年度収支予算の報告があった。

平成24年度収支実績はほぼ予算通りであったが、平成25年度は地域社会貢献活動としての地域活性化支援活動関係で対外情報発信費用が増加する予定である。

（附属資料）

1. おわりに

出席者各位の協力により、司会者の閉会宣言で時間通り無事終了した。

（文責 土田茂）